

チャレンジ！ 宿泊体験活動

校長 齊藤 昌長

6月22日（水）・23日（木）に三ヶ日青年の家で3年ぶりに1泊2日で宿泊体験活動を行いました。学校の外で活動できる喜びを感じながら、5年生は初めての宿泊体験に臨みました。

出発式の中で、私は「5年生の実力とやらを見せてもらおうか！」と子供たちに投げかけました。運動会から1か月。「スタート」で培った学級・学年としてのまとまりを、この宿泊体験活動という「チャレンジ」する場を通して、どんな力を見せてくれるのか楽しみでした。

これまでの準備の中で、活動するグループでどのような活動をするのか練習してきたと思います。しかし、学校の外に出て、実際に自然の中、知らない場所で活動することは不安だったに違いありません。最初の活動の「ハイキング」では、グループで8kmほど歩きました。途中で、グループから離れて別々に歩いたり、お弁当を食べる場所を巡って意見が対立したり、決して練習通りに、自分たちが考えていたようにはいきませんでした。



礫島まで歩きました

ところが「カニ釣り」「キャンプファイヤー」とグループや全体での活動を重ねていくうちに、次第にグループで協力したり、お互いに声を掛け合ったりする姿が見られるようになりました。



カニ釣り



キャンプファイヤー

2日目の「いかだ遊び」は、これまでのグループではなく、クラスを解体して、1～3組の混合グループで行いました。与えられた材料を時間内に、どのように組み合わせていくのか。15人のメンバーで話し合って作らなければなりません。この時、今回初めて顔を合わせたメンバーで考え、アイデアを出し合って、次第にいかだの形にしていきました。時には、対立することもありましたが、自分たちで折り合いをつけ、いかだの形を作



いかだ作り



いかだ遊び

っていきました。この間、教師はほとんど見守り、子供たちの話し合いに任せました。

完成して湖面に浮かべた時、自分たちの力が形になって現れました。うまくいかだに乗れたグループ、乗ろうとしてもバラバラになってしまうグループ。結果は様々でしたが、グループはチームになっていたと思います。

帰校式で、今回の宿泊体験活動の点数を「85点」と子供たちに伝えました。80点が合格ラインだとすれば合格点です。今回の活動から5年生の学年

としての可能性を感じました。「低い点数だと思っているかも知れないけど、来年の修学旅行では100点を目指してほしい。そして、みんなは卒業式では100点を超える可能性をもっている。」と伝えました。

今回は子供たちの可能性を感じることができた宿泊体験活動でした。これからも様々なことに「チャレンジ」して、自分たちの可能性を広げてほしいと思います。

教育相談のお知らせ

7月25日(月)～7月29日(金)

子供たちの学校での様子をお伝えすると共に、御家庭での様子を教えていただき、今後の指導に生かしていきます。詳しい日程については、各学級から出される案内文書を御確認ください。お忙しいとは思いますが、よろしくお願ひします。

熱中症対策&お願ひ

暑くなってきて、多量の汗とともに、塩分をはじめとする様々なエネルギーが失われます。失われたエネルギーを補給するため、水筒の中にスポーツドリンクを入れてきても構いません。ただ、過剰な糖分摂取を控えるため、倍に薄めることをお勧めします。

さくら連絡網を利用した健康チェックや欠席連絡の入力をありがとうございます。土日の健康チェックの入力も忘れないようにお願いします。

♡♡素敵な気賀小に感謝♡♡

先日、地域の方から大変うれしいお知らせがありましたので紹介します。ある日の午後、気賀小前を通りかかったときに1、2年生と思われる10名ぐらいの集団に出会いました。押しボタン式の信号機で停車していると、子供たちが横1列に並んで左右の確認をして、しっかりと手を挙げて横断歩道を渡っていきました。渡り終えた後にみんなが振り向いて左右両方の車の運転手に「ありがとうございました。」とおじぎをしていたそうです。こんな素晴らしい気賀小の子供たちの姿に感激をしてお知らせをしてくださいました。常に感謝の気持ちを持ち、自然とこんな行動ができる子供たちって素晴らしいですね。